



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題 (2015-2016)

- 国際会長(IP) Mr. Wichian BOONMAPAJORN (Thailand)
"Mission with Faith" 「信念あるミッション(使命・目的)」
- アジア会長(AP) Mr. Edward ONG (Singapore)
"Through love Serve" 「愛を持って奉仕しよう」
- 西日本区理事(RD) 遠藤 通寛(大阪泉北)
「あなたならできる! きっとできる」 "You can do it! Yes, you can!"
副題:-生きる しなやかに さわやかに- Live flexibly and refreshingly-
- 六甲部部長(DG) 進藤啓介(神戸クラブ)
「『YMCAと共に』 「人を育て・地域に仕える」
- 西宮クラブ会長(CP) 浅野 純一
「幸せな気持ちになれるクラブの活動」

★ 2015年10月 西日本区強調ポイント "BF・EF"
「国際的組織であるワイズを再認識し、世界の動きに即した活動をしましょう」
中井 信一国際 交流事業主任

我らのモットー:強い義務感を持つと、義務はすべての権利に伴う
To acknowledge the duty that accompanies every right !

2015年10月第810号
《69期3号》
Since 5.17.1948

スポンサークラブ
・大阪クラブ
DBC 締結(2007)
・近江八幡クラブ
・広島クラブ

クラブ主役員
会長 浅野 純一
副会長 西山 茂夫
直前会長 山口 吉郎
書記 廣瀬 一雄
書記 山口 吉郎
会計 足立 康幸
会計 岩田 健司
監事 丸山 悦治
担当主事 宗行 孝之介
部Yサユース主査山口吉郎

今月の聖句 「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです」
コリントの信徒への手紙II 4章18節 馬場一郎選

2015年10月第一例会ご案内

日時 10月25日(金) 9時~16時

会場:西宮YMCA

ドライバー:廣瀬ワイズ

西宮Yわいカーニバル(地域バザー)

準備作業

10月24日(土) 13時~
のみの市セッティング 値付け
宮古販売セッティング

当日 10月25日(金) 9時集合

1. 開会礼拝 濱崎委員長
2. オリエンテーション
3. のみの市販売
4. カレー販売
5. 終わりの集い 濱崎委員長
6. 閉会挨拶 浅野会長

【9月例出席状況】

第1例会(9/11金)
メン 21名(内MU2名)
メネット・コメント 7名
ゲスト・ビジター 10名
合計 36名
出席率 95.5%
在籍数 22名

第2例会(9/25金)
メン 15名
メネット・コメント 1名
ゲスト・ビジター 1名
合計 17名

(累計出席率 90.9%)

【お誕生日】

西山茂夫メン(10/9)、廣瀬敦子メネット(10/9)、

【ファンド・BF累計】9月

ニコニコファンド ¥4000 累計 ¥15000
Brotherhood Fund (目標 345\$) ¥4800 累計 ¥10500
東日本大震災 Fund (目標 ¥27600) ¥3200 累計 ¥7000
BF使用済み切手 (前期 ㊦) 今期 ㊦

【会長メッセージ】

浅野会長

私は2000年頃の6年間、西宮今津高校に勤務しましたが、その数年間女子サッカー部を担当しました。当時、女子サッカー部があるのは、兵庫県下で7校、近畿地区でも20校程度でした。近隣では神戸女学院の中高部にサッカー部があり、幾度か練習試合をしました。同校は高等部だけではチームが編成できず、中高併せてのチームで、高体連主催の公式戦には出場することはありませんでした。

12月の学期末に、岡田山のグランドでの試合後、辺りはすっかり暗くなっていました。帰り道の構内にはイルミネーションに彩られたクリスマスツリーがありましたが、その美しさに生徒達は感嘆の声を上げました。私は公立ではツリーを飾ってはいけない(これは冗談で、ツリーを飾ったからと言って違憲に問われることはないと思いますが、ある都市の市立体育館建設の地鎮祭でも違憲判決がでたのでわかりません)と言いながら、ツリーの傍らに刻まれた「愛神・愛隣」の言葉や政教分離のことなどを少し話しながら駅まで歩きました。

公立学校の教員をしていると、教育活動で一体何を教えて行けばよいのかとの思いが私にはありました。特にホームルームの時間の使い方には悩み自信を持ってませんでした。関学では「聖書」、報徳学園では「二宮尊徳講和」、清風学園では「般若心経」を基盤に教育活動を進めています。ならば、私学への国庫補助は政教分離に反しないのか、それはひとまず置いておいて。公立学校の教育の根幹は何か、それは教育基本法ということになるのでしょうか。同法第1条(教育の目的)「教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない」とあります。平和と民主主義が教育目的の中心にあるのでしょうか。平和に対しては、8月に私の思いを書かせていただきました。さて、民主主義ですが、「他人の人格、意見を尊重しましょう」とは最も多く語られることです。民主主義の制度は大切にしなければなりません。しかし、民主主義は「より善い社会」を形成するための方法論にすぎなく、教育の目的というにはふさわしいとは思えないのです。教育という仕事の中で、人生、社会を生徒に考えさせる手段に何か欲しいとは思っていました。古くから政教分離を進めるフランスは別として、世界の国々の教育の根底にあるのは宗教です。今回の国会での安保法制の審議では民主主義とは何かが問われました。あの国会での決議の姿をみれば、わが国の教育の目的は何だったのかの思いです。私には私学を礼賛する気持ちはありません。私学は学校の存亡を

かけて、進学や運動部等の大会での実績を上げることに必死で頑張っています。最近では公立高校でも大差はないのですが。それでも清風では、学校から高野山まで100kmの道程を昼夜兼行で歩き、人生の何たるかを教えようとしています。18才からの選挙権が実現しますが、高校では投票行動のあり方等、民主主義というものを考えさせる取り組みが強化されるようですが、民主主義は個人の資質を伸ばしてこそ、その制度が生かされるのです。教育基本法の後段にある、「個人の資質を育てる」、そのことを具体的に示していかなければならないと思うのです。しかし、制度としての民主主義の大切さを唱えることが最も行われてきたと思います。2018年から小学校、19年からは中学校で「教科としての道徳」が開始されるとのことで、大きな前進と感じています。なお、私立では道徳に代えて従来の宗教を教えることが可能とのことです。私がかつて仕事としていた公立高校では何をもって人生や社会を考えさせていけば良いのでしょうか。

【ワイズニュース】

浅野会長

10月9日(金) 第二例会 19:00 西宮YMCA

10月10日(土) びわこ部会

11:00 休暇村 近江八幡

10月10日(土) 秋空縁日(宮古販売) 芦屋

10月12日(祝) 西宮ふれあいネットワーク(宮古)

10月17日(土) 九州部会 阿蘇プラザホテル

10月31日(土) 瀬戸山陰部会

12:30 カトリック姫路教会 10月4日締切

11月1日(日) 京都部会 京都ホテルオークラ

11月3日(祝) チャリティーラン しあわせの村

11月14日(土) 西中国部会

13:00 コンフォレスト湯来

【第一例会報告】

ドライバー: 山口(吉)ワイズ、宮地特別メット

日時・場所: 9月11日(金)19時~21時

西宮YMCA出席者: 浅野、足立、岩田、岡田、小野、阪根、長井、西山メット、濱メット、濱崎、廣瀬メット、藤原、丸山、宗行、万本、三島、山口政メット、山口吉メット、山本メット、宮地特別メット、ゲスト: 進藤啓介(神戸)、山口徹(同)、遠藤典子(大阪泉北)、遠藤通寛(同)、吉田芳子(大阪サウス)、大町佳代、松浦秀之、その他に大町さんのお母様と友人2名

9月はネット強調月なので、ネットの例会参加をお願いしたところ、たくさん参加してくださり、盛会となりました。司会は宮地特別ネットが担当されました。

まず進藤部長より六甲部長公式訪問のメッセージをいただき・YMCAと共に次世代を育む・YMCAを見直すリブランディングについてユースみんなで考えYYフォーラムでもリブランディングを取り上げる等のお話でした。



続いて、遠藤典子ネット事業主任からメッセージをいただきました。ネット月に因んでお誘いしたところ、快くご主人の遠藤理事と吉田ネット書記と参加していただきました。東北被災地支援をスローガンに、・北東部各クラブへの寄付・もりおかクラブ、陸前高田、福島原発訪問の事・物産を購入しよう(大船渡のワカメ)等のネット事業でした。

ゲストスピーチは、以前にも講演していただいた大町佳代さんです。浅野会長の教え子で、大学卒業後、カンボジア・アメリカ・モザンビークでNGOや青年海外協力隊で活躍され、直近ではJICAでアンゴラにて仕事をされました。今回は、「つなぐいのち～アンゴラ共和国での経験を通して～」のタイトルで話してくださいました。復興から開発へ、アンゴラ共和国概要、地雷撤去、母子健康手帳の話題と我々の考えの及ばない内容で非常に興味深いものでした。質疑応答では・医療現場で流れ作業とは？⇒カルテが無い。・国の教育に対する姿勢は？⇒識字率は72%で高等教育・ロールバックマラリアで7年も蚊帳を配布しているが効果は？⇒住化の蚊帳として知られている。なぜ蚊帳が必要なのか知らない。蚊帳を売ってお金に換える者も。等々。資源も豊富でお金持ちの国なのに復興がままならないのは何故なのか疑問が残りました。ずっと海外で活動されているので、我が娘がどんな仕事をしているのか知らない、大町さんのお母様と友人が聴きに来られました。そして大町さんは、今までポルトガル語圏での活動でしたが、今度は英語での「公衆衛生」を学ばれるためイギリスに旅立たれました(例会の翌日)。世界を舞台に勢力的に動き回

られている姿勢が素晴らしいと感じた例会でした。



【YMCA ニュース】

宗行 孝之介ワイズ

酷暑のあとは台風、大雨で大変な被害が出ています。私もかつての豊岡水害のときに被災地でボランティアしましたが現地のすさまじいニオイと水を含んだ土のうの重さは今も忘れません。なんとか復興してほしいと思います。



さて、漸く今年度の活動も上半期を終えようとしています。皆さまのお支えに心から感謝いたします。今月末には待望の加納町新会館の着工がなされます。定年間近の私とすれば新しい会館で仕事をさせてもらえるかはわかりませんが、任期中は精一杯力を注ぎたいと思っています。思えば30数年前にYMCAに奉職したときと現在はおおきく環境も状況も違ってきています。しかし、YMCAのスピリットは変わりません。それは会員運動だということです。財源の確保が益々難しく、なお、基幹事業の確立もなかなか難しいことではありますが、それでもYMCAを支えてくださる会員、レーパーソン、ポリシーボランティアと呼ばれる人たち、さらにユースリーダー諸君。これらの人たちはひとつになってさらに大きな輪に利用者や受益者のみなさんも巻き込んだ業をなしてゆく。このことを実感できる行事が秋のさまざまなプログラム、即ちチャリティーランであり、カーニバル、ファミリープログラムであろうと思います。さらに盛り上げてゆきたいものです。どうぞよろしく願いいたします。

【リーダー会便り】

宮脇 知絃リーダー

キッズは、須磨海浜水族園で活動しました。生き物の大切さを知ってほしいという願いから、リーダーが事前に制作したビンゴゲームを楽しみました。子どもたちはゲームを楽しみつつ、魚の生態について興味を示していました。子どもたちがゲームを通して、魚を含めた生き物の命を私たちがいただいているという感謝の気持ちと大切さを学べた一日だったと思います。

ジュニアは、須磨海浜水族園で活動しました。自分達でまわる順番を相談しながら、グループごとにイルカショーを見たり、海の生き物の広場で生き物に触れたりして、楽しんでいました。普段見ることや触ることができる機会の少ない、海の中の生き物に、興味を示し、有意義な時間を過ごすことができました。

シニアの9月例会は兵庫県立海洋体育館でカヌー・カヤックをしました。今回は子どもたちがタイムテーブルを決め、6年生にはリーダーと同じ、船長さんの役割である「スキッパー」に挑戦しました。一人一人が協力しあって船を前に進める姿は立派でした。今後も、みんなで協調し合って難易度の高いプログラムを主体的に楽しんでほしいと考えています。

【六甲部会メネットアワー報告】

宮地京子特別メネット

9月5日(土) 12:30~14:00 於 北野クラブ 六甲荘2Fフェネルにて、65名と予想を上回る出席者で会場を埋めました。

最初に 神戸ポートクラブ 大野勉メンの[感謝と友情~心を繋ぐ~]と言うテーマでお話をされました。最初から絆が有るから繋がるのではなく 繋がる気持が有るから絆は生まれ 育まれるのだと良く理解しました。

次に さんだクラブ 安行暁子メンの[4年後に東北を訪れて]と題して話されました。今年3月~4月に掛けてハンドベル関係で 仙台市へ行かれ 岩沼で少し高台の神社から見た景色は 何も無い更地だけ あれから4年も経っているのに何も無い 重機すらたまに点在するのみ 復興の仕方が神戸と違う 岩手県野田村の保育園に行ったが其処らあたりもやはり平地のみ 保育園では 常に津波を予想しての避難訓練を実施して居たので園児 先生共に犠牲者無く澄んだとの事 しかし園長先生は「此処で見聞きた事を神戸に帰った時伝えてほし

い 此処の人達は常に頑張っている 今迄頑張ってきた人達にも心の支援が必要です」との事でした。

最後に山崎知行先生の「福島原発事故の健康相談に関わって」と云うテーマでのお話を伺い チェルノブイリ事故後の対応と 福島原発事故後の対応の違いに驚き 不安を抱いたのは私だけでは無いと思います。

メネットアワー時に海産物 及び六甲部メネットの手作り品・アクセサリー等を販売 同時に支援の為に献金を行い ¥57,700、- の献金が集まりました 物品販売利益は ¥37,100、-有り 献金は全額六甲部会で 遠藤西日本区メネット事業主任にお渡しし 物品販売利益は今後のメネット事業の活動費用に当てるとの報告を頂きました

【学園都市クラブ例会出席報告】

浅野会長

9月17日(木)午後7時からの「フラを通して学ぶアロハスピリット」と題する例会に参加しました。例会では、宝塚クラブの石田由美子ワイズによるフラの指導と解説、関学大(三田)のフラサークル「Mahalo」による実演が行われました。

フラと言えばスチールギターやウクレレを伴奏に、短いスカートで腰をくねらせながら踊る、そのようなイメージで見えていたのですが、今回フラのポリネシアのハワイ人の文化としてのフラの意味合いを知りました。彼らは文字を持たないので、神への祈り、神話、自然を表現するのにメレ(歌)を唱えるのですが、フラ(踊り)は神聖な儀式でメレを忠実に表現するものとして誕生しました。フラは詩を理解して踊るものなのです。

現代フラは西欧音楽の影響を受けていますが、古典的なフラはリズム楽器のみでの演奏です。フラは一時的に入ってきたキリスト教宣教師によって禁止されます(1830~74)。半裸で踊ることは不道徳、自然界の神々の崇拝は禁止するとの理由からですが、「フラはハワイ人の心の言葉である。心臓の鼓動である」としてカラカウア王(在位 1874~91)によって禁止が説かれます。ハワイの伝統文化は「アロハ」で、Akahai(人に優しく)、Lokahi(助け合って)、Olu'olu(明るく)、Ha'aha'a(謙虚に) Ahonui(辛抱強く)の頭文字を併せたものです。フラはアロハの気持を表現するものなのです。例会にはワイズ以外の方々も多く参加され、30人以上の盛況な会でした。近江八幡クラブから堀江ご夫妻も参加され、芙美メンは最後に、隠れるようにして関学のメンバーの後ろで上手に踊っていらっしゃいました。



【DBC 交換ブリテン】

近江八幡クラブ 持田ワイズ

今年度近江八幡クラブの広報委員を担当します持田和夫です。みなさんに原稿の提出を催促す月末を迎えて、今回は私が催促される事になりました。クラブ3番目の高齢者ですが、この夏富士山登山に挑戦しました。正月に孫娘が帰省した折“一度富士山に登ってみたいかった…”と話した事を思い出して、5月の連休に帰省した時「じっちゃん今年富士山に登ろうか？」と言ってくれたので「うん、いいよ」と安請け合い。息子や知合いからも「大丈夫？」「登れる？」と冷やかされました。ウォーキングマシンや水泳で足を鍛えたり、新しい靴に慣れるため比較にならない低い山ですが、八幡山に2回登りました。息子曰く「荷物も背負わず、あんまり意味ないな…」と。

7月10日朝、新幹線で東京に向かい、新宿で孫娘と合流、高速バスで河口湖駅まで2時間。送迎タクシーでホテルへ、少し雨が降って来て明日の天気心配になった。豪華な夕食を囲みながらも期待と不安で複雑な気分だった。朝が早く朝食キャンセルして、バスで五合目に向かう、到着したのが8時半、身体を慣らすためと一時間ほどお店を覗いたり、辺りをぶらぶら。天気は上々で日焼けが心配なほど、9時半になったので登頂を開始しました。最初に少し下って、木立を抜けると本格的な山登りを実感しました。6合目を過ぎると木も草もなく、照り付ける太陽と大きな荷物の重みを感じながら一步一步、時には四つん這いで登る難所もありました。沢山の人が居たので追い越したり越されたり、外国の人もかなりいました。山小屋に着くと日影がありほっとする。トイレの使用料 200 円。頂上に一番近い8合5勺の御来光館(3,450m)に5時半に到着、所要時間は8時間。夕食を食べ8時過ぎより仮眠、畳一枚に二人位の感じで隣は全く知らない人。小屋によっては

頭・足・頭・足と交互に寝る所もあると…。私は何処でも寝られるという特技があるので、あっと言う間に鼾を掻いたらしい。夜中2時に起こされ、外に出ると真っ暗でヘッドランプが頼り。上を向けば満天の星で今までに見た最高の星空でした。山の上を見ても、下の方を見ても転々と光の列は続いていました。2時間かけて4時10分やっと頂上に到着。東の空は段々と明るくなって、下を見ると頂上を目指すヘッドランプの列が続いていました。間もなく雲のない水平線より日が昇り始め、最高の御来光！！持って来たワインをコップに注ぎ、孫と二人で祝杯を挙げました。噴火口の巨大さにも感動！さすが日本の山です。1時間ほど山頂を散策しながら遠くの山々を眺めたり、登った道を振り返りいろいろと想いを馳せました。孫娘は息子から“じっちゃんが頭が痛いとか、少しでも異状があれば直ぐに下山するように”と喧しく言われていたと、常に2、3歩後から見守って居てくれました。不思議と足、腰に異状なく呼吸も正常で、最高の気分でした。



【西日本区だよりー14】

EMC事業主任 小野 勲紘



六甲部部会(9月5日)

西日本区のトップを切って、9月5日(土)六甲荘において、六甲部部会が開催されました。目玉イベントは中道基夫理事長による基調講演「YMCAのブランディングについて」と、中村父子による「ピアノ連弾コンサート」でした。双方とも素晴らしい内容で感動的でした。今後のYMCAとワイズの前途を照らして欲しい。EMC関係では、「EMCシンポジウム」が既に済んでいて、気分的にすっきりし。六甲部では今までEMCシンポジウムは、2年前の13-14年度当時の為国EMC事業主任をお招きして開催して以来2年ぶり。少しずつですが、メンバーの間にシンポジウムの趣旨と熱意が根付いてきているように思われます。今期はそういった土壌の芽生えによる花を咲かせようではありませんか。



阪和部部会(9月12日)

六甲部に続いて、阪和部部会が奈良の商工会館において開催されました。今期の阪和部部会は東日本震災地域復興支援一色。メネットアワーからその報告と今期の支援方針が報告され、部会に入って基調講演は、仙台YMCAの村井伸夫総主事の「被災地の今-昔のままの、未来に向かって」は感動的なお話しでした。よく言われるように、支援はワークの段階を越えて、「現地の産品を買う」「現地に行く(訪問する)」「現地と交わる」という命題はこれからの支援の方向を開けていただいたと思われま

す。EMC関連では「EMCシンポジウム」を11月21日(土)に大阪南YMCAにおいて予定されています。アピールは短い時間でしたが、望月EMC事業主査と白井阪和部150推進チーム委員長と一緒に「VISIN 2022」と「Y'S MEN'S WINDOWS100(→2022)」のアピールをさせていただきました。



巾着作り(クッキー入り) 村井仙台 YMCA 総主事

中西部部会(9月19日)

部会第3弾は中西部部会。メネット会のゲストスピーカーは仙台青葉城クラブの清水弘一ワイズ(YMCA 学園理事)。東日本大震災支援の窓口をされて、東北を訪問する度々にお世話下さっている。この日は「東日本大震災の被災地は“いま”」と題して写真を交えて説明されました。かつて東日本区理事も務められた。

部会のゲストスピーカーはイブネット・ジャパンの代表理事の本田 孝さん。環境教育に携わって40数年。動植物と河川の関係や自然保護普及について、やさしくご説明いただいた。部会の中でも奥田中西部部長から「ワイズの森づくり」の話題から「森は海の恋人」「ウナギの森」といったキーワードが出て、中西部の環境への取組がアピールされた。「EMCシンポジウム」は10月3日(土)16:00～大阪YMCAにおいて開催されます。皆様のご参加を歓迎しております。シンポジウムは必ずしもその所属部のみではなく、ご都合の付く部のシンポジウムにご参加いただき、部・クラブを越えた発想やアイデアを出し合っていけたらと思っております。所属部のシンポジウムを逃した方は是非、直近のシンポにお越し下さい。



◆会計よりお願い

前期の会費が未納の方は早急に会計まで届けて頂くか、口座振り込みをお願いします。

会計 足立ワイズ